

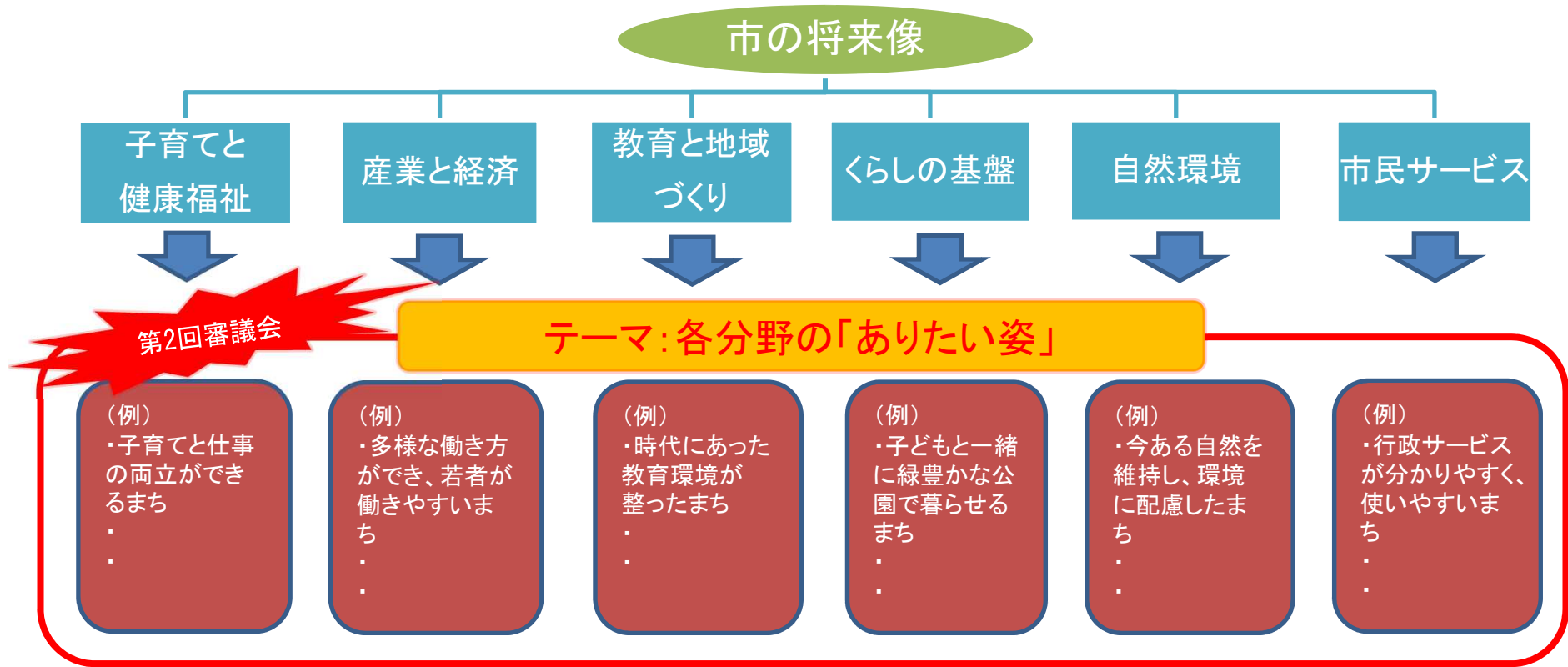
第2回総合策定審議会の 進め方について

令和3年3月26日

菊池市役所 政策企画部 企画振興課

対話の目的

グループ対話を通して、各委員が考える「ありたい姿」を知り、新たな気づきを得ることで、合意形成を図ります。総合計画は、市役所だけで作るものではなく、市民と共に考え、作り上げることが重要です。委員の皆さんは、市民の代表者として、アンケートやワークショップの意見を参考にいただき、他の委員の意見も尊重しながら、「将来こんなまちにしたい」「こうあって欲しい」など、自分たちがまちづくりをするという視点で、6つの分野の『ありたい姿』を考えていただきます。



グループワークの流れ ①

- ▶ 委員の皆様にはA、B、Cの3グループに分かれ、それぞれ2つの分野でグループワークをしていただきます(グループ分けの詳細は別紙名簿を参照)。
- ▶ 各分野のキーワードに基づいて、「ありたい姿」を考えていきます。
- ▶ 議論をスムーズに進めるため、「ありたい姿」は策定審議会までにご検討をお願いします。

各グループの担当分野

グループ	分野	キーワード	「ありたい姿」の例
A	①子育て・健康福祉	子育て支援 障がい福祉・高齢者福祉 健康づくり	・支え合える地域のネットワークがあるまち ・子育てと仕事の両立ができるまち ・障がい者が地域で活躍できるまち
	②市民サービス	情報発信 市民参画の推進 効率的・効果的な財政運営	・行政サービスが分かりやすく、使いやすいまち ・市民に寄り添い、市民の意見が反映されるまち
B	①産業・経済	観光の振興 農業・商工業の振興 地産地消 雇用・企業の誘致	・多様な働き方ができ、若者が働きやすいまち ・自然、歴史、温泉、食を中心とした観光が盛んなまち ・地産地消のできるまち(地元で生産して地元で消費)
	②くらしの基盤	住環境の整備 道路・公共交通の整備 防災・消防・防犯・交通安全	・みんなが快適に暮らせるまち ・子どもと一緒に緑豊かな公園で過ごせるまち ・災害に強く、安心・安全に暮らせるまち
C	①教育・地域づくり	学校教育 生涯学習・スポーツ 市民参画・協働 人権啓発・男女共同参画	・時代に合った教育環境が整ったまち ・生涯学習の環境が整ったまち ・生涯を通じてスポーツを楽しむことができるまち
	②自然環境	循環型社会の形成 ごみの適正処理と再資源化 環境・景観の保全	・多様な人が色んな分野で活躍できるまち ・今ある自然を維持し、環境に配慮したまち ・自然環境に対する市民の意識が高いまち

委員の皆様の
**・将来こんな
 まちにしたい**
・菊池はこうあって欲しい
 という思いを議論

グループワークの流れ ②

- 各分野で30分ずつ議論の時間を設けています。
- その後、議論いただいた内容をグループ代表の方から全体に向けて発表していただきます。

グループワークの時間割

予定時間	内容
13:55～14:00	各グループに分かれ、会議室へ移動
14:00～14:30	分野①について議論
14:30～14:35	休憩
14:35～15:05	分野②について議論
15:05～15:10	移動
15:10～15:25	各グループの発表(5分×3グループ)

グループワークのイメージ

▶ グループワークでは、ファシリテーター(地総研スタッフ)が委員の皆様が考える「ありたい姿」を付箋に記載し、該当するキーワードの周りに貼付していきます。

特徴的・印象的なコメント抽出のイメージ

